

## キャッチボールできますか？

気比校祭からスタートした2学期。

気がつくやうに、すでに1ヶ月が過ぎてしまいました。

2学期の始業式で校長先生からコミュニケーション能力の大切さについてのお話がありましたが、皆さんは上手にコミュニケーションがとれていますか。

コミュニケーションをとるために必要となる基本的な力には、次の3つがあります。

まずは「**会話力**」であり、**伝えたい内容を上手に話す力**です。

次にあげられるのが「**傾聴力**」です。これは、**相手が伝えたいという内容を正しく受けとる力**であり、「なるほど」と同意したり、「どうして」と質問することによって、**相手の話を引き出す力**という意味もあります。

そして3つめは、「**共感力**」です。いうまでもなく、**相手の伝えたいという思いを受け取る力**ですが、**言葉にできないものや行間に隠された言葉に気づく力**だともいえるでしょう。

この他にも、上手にコミュニケーションをとるには、多様な価値観を理解する力であったり、本質は何かを考えて話している内容の質を高める力など、様々な力が必要だと思われます。

このように考えると、コミュニケーションをとることが難しく思うのですが、では右に示したマンガを見てください。

これは**コミュニケーションがうまくいかない9つのケース**を描いていて、マンガの内容がわかりやすいということで、今話題になっているものです。

このマンガの作者は青森県むつ市出身のねんまつたろう (@KITASAN1231) さんで、「僕の友人は人と会話する際に、しゃべりすぎてしまう癖があるんです。こやうやって漫画にして読んでもらえば、自分のことを客観視して改善できるのではないかと」思って描いたそうです。

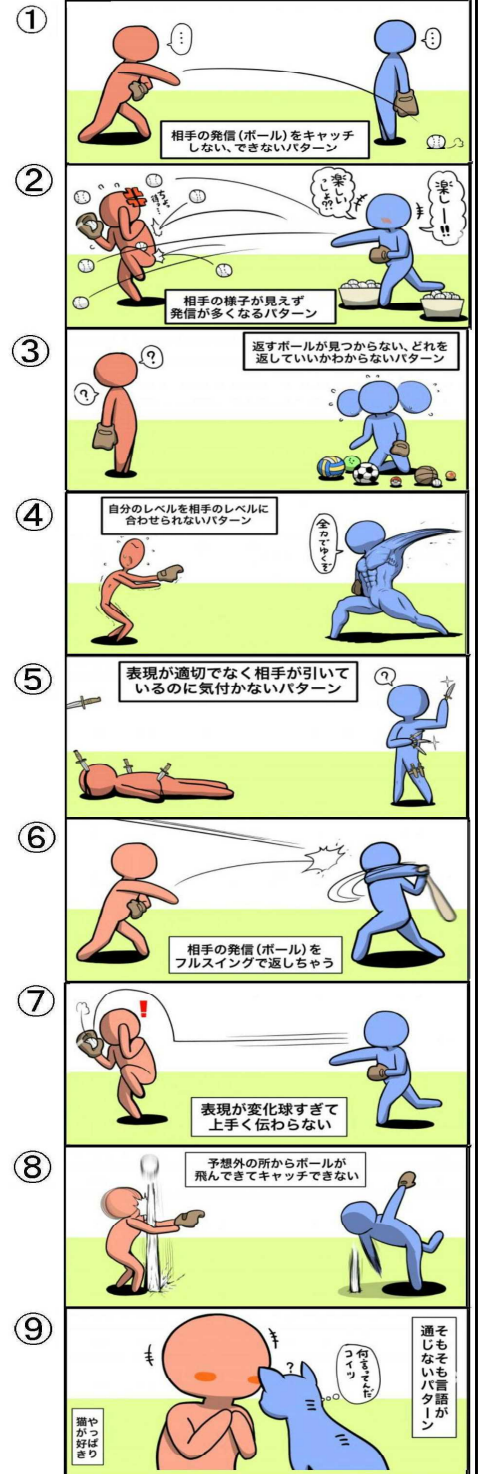
さすがに話題になっているだけあって、実際に状況を思い浮かべながら読んでみると、「ある、ある。」と思わず納得してしまうものばかりですが、皆さんはどうでしょうか。

作者の方も指摘しているとおり、コミュニケーションがうまくできているのかどうかは、当事者が一番よくわかっていることなのです。そして、その原因がどこにあるのかを考える場面になると、つい自分自身のことは棚に上げて、相手にコミュニケーションがとれない原因を求めてしまいがちです。

そのような時は、このマンガを読んで、客観的にコミュニケーションをとろうとする自分自身の態度に問題がなかったのかを、見直してみるとよいのではないのでしょうか。

コミュニケーションはまさにキャッチボールであり、お互いの力が高まることで、その質も高まっていくのです。

### コミュニケーションが上手いかないパターン



## スクールカウンセリングのご案内

来月は、次の日程でスクールカウンセリングを行います。

気持ちが少し疲れて、誰かと話してみたいと思う人は、教育相談室まで申し出てください。

第1回 10月8日(火)

第2回 10月23日(水)

※ スクールカウンセラーの先生のご都合等で日程が変更になることもあります。